

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立大野中学校【指定校】

【取組内容】「主体的・対話的で深い学び」を意図的に促す

【「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実】

本校においては、クラス単位で生徒情報や個人の学習内容を運営・管理できるツールを活用し、生徒の学習をより個別最適かつ協働的に行うことができるよう取り組んでいる。

右の例では、生徒の学習内容に沿った授業資料を提示し、個人の興味・関心・意欲に合った学習をサポートしている。

また、学習の参考となる動画等を学習資料として提示することで、生徒の主体的な学習を促すこともできる。

授業資料

-  前置詞の使い方演習
投稿: 2024年12月16日
-  Unit 6 Part 3 文法まとめ
投稿: 2024年12月16日
-  Unit 6 Part 1~2 文法まとめ
投稿: 2024年12月9日
-  英文のつくり方
投稿: 2024年11月25日
-  ベーシック英語
投稿: 2024年11月15日
-  動名詞・不定詞文法プリント
投稿: 2024年11月19日

進路学習スライド

イ
提出済み

通学方法: バス、JR、車

交通費
電車: 1030円
左石駅～佐世保駅: 270円
佐世保駅～早岐駅: 760円

左の例は、生徒が総合的な学習の時間に作成した成果物である。生徒がタブレット端末を用いて作成した成果物を一元管理することで、教師は学習進度を把握できる。

また、1つのファイルにおける生徒の共同編集を可能にすることで、成果物を作成する過程において良い点や改善点をお互いに話しながら活動に取り組むことができるため、協働的な学びを実現するとともに、「主体的・対話的で深い学び」を意図的に促すこともできる。